



有料老人ホームはっぴー
デイサービスはっぴー前川
デイサービスはっぴー喜屋武
新型コロナウイルスクラスター発生
対応～終束まで

デイサービスはっぴー前川
管理者として生存をかけた戦いを勝ち抜き力尽きた男 城間郁汰

施設の概要

- 1F デイサービスはっぴー前川（大規模Ⅰ）
1号館（定員45名）・2号館（定員20名）
- 利用者：57名（有料入居者44名 在宅利用者13名）
- 職員：18名（常勤6名、非常勤12名）

- 2F/3F
- 入居者定員64名＝1号館（36部屋）・2号館28名
- 個室62部屋 相部屋2部屋
- 職員：13名 夜勤3人体制

発生前日

☆2022年2月10日（木曜日）

・ 有料職員⇒自宅にて発熱あり。嘔吐あり。自宅にて簡易キットにて抗原検査行い、陰性を確認。翌日（2/11）の勤務の調整を行い、近くの病院にてPCR検査を受けてもらうよう指示。体調面の変化等情報共有する。

発生当日

☆2022年2月11日（金）

- ・明け方3時頃、夜勤勤務対応中の職員発熱あり。施設にて簡易キットにて陰性を確認し、勤務交代し帰宅。その日でPCR検査を受けてもらうよう依頼。
- ・同日、朝11：00頃、利用者さんの調子がいつもと違う様子が確認され、バイタル確認。発熱を確認。ご家族へ連絡を行い、病院受診を行ってもらう（発熱外来）。
受診後、家族より連絡があり、コロナ陽性を確認。
- ・陽性反応の報告を受けた利用者さんの受け入れ態勢を整える準備を行い、家族さんへ施設の状況と、受け入れ態勢が整うまで、本人の自宅に一時帰宅をしてもらい、状況確認を随時行っていく。
- ・入居者54名、併設（同一建物）しているデイ・施設入居者で同法人のデイサービスはっぴー喜屋武利用している職員への抗原検査を実施。その結果、施設入居者2名と職員1名の陽性反応を確認。
- ・全利用者を居室へ隔離。（陰性、陽性問わず）

有料老人ホームの居室入口ドア



発生～2日目

☆2022年2月12日（土）

- ・ 有料老人ホーム入居者の介護支援をデイ職員対応。利用者さん1人に発熱あり。抗原検査を行い、「陽性反応」あり。
- ・ 前日、PCR検査を行った職員「陽性反応」。
- ・ 入居者数名に発熱症状が確認。職員の体調面の確認を行う。
- ・ 沖縄県コロナ対策本部より連絡あり。陽性者の情報提供を行う。
- ・ 南部保健所より連絡⇒濃厚接触者のリスト作成を依頼される。
- ・ 抗原キットでの陽性反応があっても、主治医の診断がないと発生届が出せない事が判明。
- ・ 前日の抗原キットにて陽性反応確認取れた職員を近隣クリニックへ受診。発生届を依頼する。

抗原キット検査



発生～3日目

☆2022年2月13日（日）

- ・ 新規発熱者6名（利用者4名+職員2名）。抗原キットにて、3名の陽性、PCR検査にて1名の陽性を確認。合計10名（利用者6名、職員4名）
- ・ 南部保健より連絡あり。新規陽性者の濃厚接触者の確認を行う。
- ・ 沖縄県コロナ対策本部より、クラスター発生施設として取り扱うと連絡あり。県コロナ対策本部より、新屋Dr、徳永Ns、比嘉Pgが来所。施設の状況確認（ゾーニング、職員の感染対策の状況、物品の確認、陽性者の状態の確認）
- ・ 2名の利用者さんの状態悪化。コロナ対策本部入院支援班とやり取りを行い、入院受け入れ可能な病院と調整を行い、2名の利用者さんの入院。

発生～4日目

☆2022年2月14日（月）

- ・新規発熱者6名（利用者4名+職員2名）。抗原キットにて、2名の陽性、PCR検査にて2名の陽性を確認。合計14名（利用者8名、職員6名）
- ・本日より、再度徹底した感染対策を行ったうえでのサービス提供。
- ・対策本部Dr、看護師、施設役職職員を含めた、施設の状況整理を行う。その際に、役割分担、施設の状況（陽性者の発生状況、物品の状況）再確認を行う。
- ・デイサービスフロアを対策室として変更し、対策本部を立ち上げる。
- ・職員感染も増加傾向有り。





< 現状分析 >

1. 指揮系統

管理者: 坂間 (ナリ), 知念 (ホム), 新垣 (洗理長)
 看護師: 仲宗根
 介護士: 川崎
 TEL:

時更新
 (毎日決まった時間に更新して下さい)

2. 感染状況

2/12 ナリ前川 2号館 用所
 ナリ前川 2号館
 ナリ前川 現在少人数用所 (9人)

★ 累計陽性者数

入居者	総数	陽性	陰性	検査待ち	入院
1号館 2F	17	1	16	0	0
3F	18	3	15	0	1
2号館 2F	13	2	11	0	1
3F	7	0	7	0	0
合計	55	6	49	0	2

職員	総数	陽性	陰性	結果待ち	入院
看護師	5	1	4	0	0
介護士	25 (25名)	2	23	0	0
管理職	3	1	2	0	0
合計	33	4	29	0	0



発生～5日目

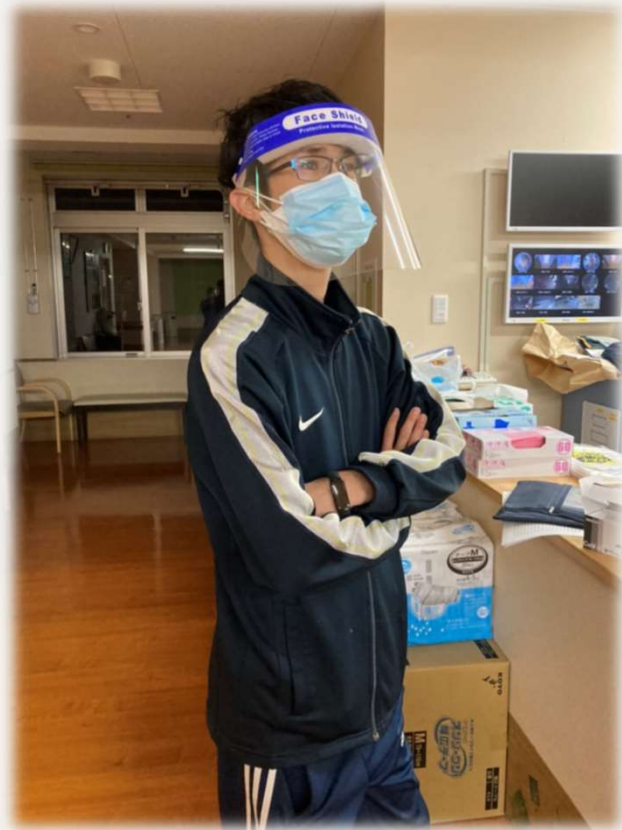
☆2022年2月15日（火）

- ・ 新規発熱者8名（利用者6名、職員2名）。クリニック受診し職員2名陽性反応。合計16名（利用者8名、職員8名）。
- ・ 本日、利用者さんでの陽性反応の報告なし。
- ・ 職員間感染や、利用者への媒介の可能性。
- ・ 全利用者、職員を濃厚接触としてスクリーニング検査（PCR検査）を行っていく検討をする。
- ・ 再再度、全職員向けの感染対策（防護服）の説明を行い、職員間で確認をしあう。
- ・ 訪問診療を利用している利用者に関しては、訪問診療所へ連絡を行い発生届の依頼をかけていく。

発生～6日目

☆2022年2月16日（水）

- ・新規発熱者4名（利用者3名、職員1名）。抗原キットにて利用者3名の陽性反応確認。PCR検査にて職員1名の陽性反応確認。合計20名（利用者11名、職員9名）。
- ・感染経路が不明確な部分が多く、PCR検査の実施を決定。
- ・南部保健所とPCR検査の調整を行う。
- ・中和抗体療法（カクテル療法）の実施の説明。



発生～7日目

☆2022年2月17日（木）

- ・ 新規発熱者1名（利用者0名、職員1名）。
PCR検査にて職員1名の陽性反応確認。
合計20名（利用者11名、職員10名）。
- ・ 入居者or在宅利用者へPCR検査の実施。
- ・ 中和（カクテル）抗体療法を開始。

発生～8日目

☆2022年2月18日（金）

- ・新規発熱者2名（利用者0名、職員2名）。クリニック受診し職員2名の陽性反応確認。合計22名（利用者11名、職員12名）。
- ・PCR検査の検体提出。
- ・看護師不足。外部の訪問看護の応援要請を行う。

発生～10日目

☆2022年2月19日（土）

- ・ 新規発熱者1名（利用者1名、職員0名）。前日のPCR検査の結果にて5名の陽性を確認。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・ 1名の利用者さんの状態悪化あり。対策本部へ入院の調整を依頼。



ここから先
立入禁止

ここから先
立入禁止

発生～11日目

☆2022年2月20日（日）

- ・新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。
- 合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・重症の利用者さんの入院先決まり搬送。
 - ・職員不足の状況続くも・・・

発生～12日目

☆2022年2月21日（月）

- ・新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。
合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・この日から療養期間を終えた職員の復帰。

発生～13日目・14日目

☆2022年2月22日（火曜日）

- ・ 新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・ 発生初期に入院していた利用者さんの退院。
- ・ 初の利用者さんの隔離解除。

☆2022年2月23日（水曜日）

- ・ 新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・ 職員の復帰1名。
- ・ 隔離解除予定利用者の状態が落ち着かないこともあり、隔離期間の延期。

発生～15日目・16日目

☆2022年2月24日（木曜日）

- ・ 新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・ 利用者さん久しぶりの入浴支援。
- ・ 1名の職員復帰。1名の利用者の隔離解除。

☆2022年2月25日（金曜日）

- ・ 新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・ 職員の復帰1名。
- ・ 隔離解除予定利用者の状態が落ち着かないこともあり、隔離期間の延期されていた利用者さんへのPCR検査を行っていき、検査の結果によって隔離解除の判断。
- ・ 3名の利用者の隔離解除。

発生～17日目・18日目

☆2022年2月26日（土曜日）

- ・ 新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・ 利用者さん久しぶりの入浴支援継続。
- ・ 2名の職員復帰。

☆2022年2月27日（日曜日）

- ・ 新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・ 隔離解除予定利用者の状態が落ち着かないこともあり、隔離期間の延期されていた利用者さんへのPCR検査結果を提出。
- ・ 3名の利用者の隔離解除。

発生～19日目

☆2022年2月28日（月）

- 新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- 入院している利用者さんの体位の調整。
- PCR検査の結果、1名隔離解除。1名は、陽性反応有るとの事で隔離延期。
- 1名の利用者さんの急変報告あり。
- ご家族さんへの面会の会議を行う。

発生～20日目（別れ）

☆2022年3月1日（火曜日）

- ・新規陽性者0名（利用者0名、職員0名）。合計28名（利用者16名、職員12名）。
- ・3月1日15時01分に施設内で、利用者さん息を引き取りました。

振り返り・・・（現場）

- ・防護服のテクニックがなかった。・居室から居室への移動する時に、脱ぎ忘れることもあった。
- ・昨日まで、食事介助・オムツ交換をした利用者、一緒に仕事をしていた職員が陽性の報告があったときに、不安になる。
- ・絶対にコロナに負けない気持ちでいるけど、毎朝起きるのが怖かった。
- ・感染しないように自分なりの対応方法を勉強するいい機会になった。
- ・病院との違いをすごく感じた。物品がない状況もあったので、とても怖い気持ちもあった。
- ・対策委員会を作っていくべき。・今後の感染症対策にしっかりと活かしていきたい。
- ・職員同士で声を掛け合うことで、利用者、職員を守る事ができる。

振り返り・・・（対策部）

- ・コロナ感染症に対しての知識不足があった。・保健所・対策本部とのやり取りを行って行く中で、利用者さんの基礎疾患等、基本情報をもっと頭に入れておくことが必要だと感じた。
- ・今回の感染を通して、医療と介護の連携をもっと行っていくべきところを感じました。
- ・ご家族、関係事業所への謝罪・・・
- ・協力してくれる事業所の確認。
- ・チームワークの大切さ。

まとめ （皆さんに伝えたいこと）



- ・感染症などに対してしっかりと知識をしっかりと持つこと。
- ・感染症対策委員会等、組織で独自の会を立ち上げて、そのメンバーからしっかり周知。
- ・職員感染が一番怖いので、しっかり定期的なPCR検査を。
- ・いつ・どこで・誰がなってもその人を責めない、逆にエールを！
- ・役職を持っている職員はとにかく「笑顔」・「元気」・「怒らない」・「冷静」EGORがとても大切になってきます！